

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	5	B	20122011	入倉嵩登

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API を使ったアプリやゲームが作ったけど「動きませんでした、完成しませんでした」は評価に値しません。単位取得は、きちんと動くものが評価対象です。API を使うこと、そしてプログラミングは 1 年生からの講義で学ぶことをすべて活用すれば実現できるはずです。

設問 (1)

この科目で学んだ内容を第 3 者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

まず、API とはアプリケーション・プログラミング・インターフェースの略称で、ソフトウェアや web サービスを繋ぐためのものである。インターフェースとは、あるものとあるものの間をつなぐという意味を持つ。インターフェースの身近な例として、テレビのリモコンが挙げられる。人間がテレビを操作するためのものであり、人間とテレビとの間を繋ぐインターフェースである。普段私たちがスマートフォンなどのアプリケーションを使用して天気予報を調べたり、Web サイトでレストランを予約したりするときに、目には見えないが API を活用している。直接目にすることはなくても API は私たちの生活を支えてくれているのである。API を作成し、公開することで、API を利用する人や企業に対して付加価値を提供できる。より多くの人が必要とする API には高い価値が付き、サービスとの連携によって社会全体の発展につながる。API の概要以外に、web アプリケーションの脆弱性やそれを利用した攻撃手法、ウェブブラウザなどを利用している際に通信が成功したことやエラーの種類を示す「ステータスコード」についてなど数多くのことを学んだ。代表的なステータスコードとして 404(Not Found)や 403(Forbidden)などが挙げられる。アクセスしたページが見つからない・削除された可能性がある。などの文章と共に目にしたことがある人が多いのではないかな。これらのように、アクセスしたページに対して何かしらのエラーが起きた時や成功したことを 3 桁の数字で表すコードのことである。API 実習では上記のことのように身近で経験したことのあるようなことについての知識から、その知識を扱う側の人間として重要であることなどの専門的な知識まで、幅広く学習した。

設問 (2)

レポート(4)をもとに、API 連携作成または API を用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

名称

焼肉屋探し 新潟駅周辺 ver.

概要 (作ったものの説明)

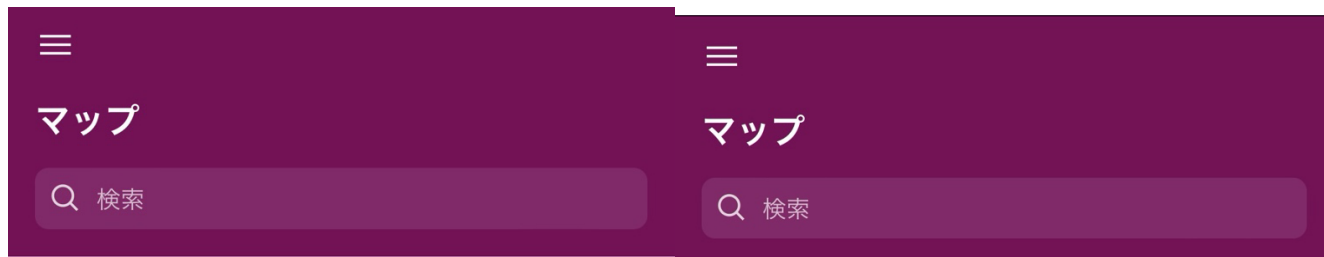
Google スプレッドシートにデータを入力し、SheetDB で API 化して、Glide を使ってアプリケーション化した「焼肉屋探し 新潟駅周辺 ver.」というサービスである。新潟駅周辺の焼肉屋についての情報を得ることができる。一覧から一つひとつ閲覧してだけでなく、営業時間や価格帯などで検索して、ニーズに合った店舗を探すことが可能である。また、マップ画面を参照することで、店舗の場所も把握することが可能である。マップに表示されているピンをタップすることで、その店舗の情報が記載されているページに移動することも可能である。スマートフォンからも PC からも利用可能である。また、API についてのドキュメントを作成した。

ドキュメントの URL (<https://ikura12.github.io/praj/>)

サービス説明(動作がわかるように画面を交えて説明すること)



左がトップ画面である。店舗名と営業時間、価格帯が店舗の画像と共に一覧で表示されている形である。一目で営業時間や価格帯が把握できるように、レイアウトを設定した。右の画像が店舗の概要画面である。ここでは店舗名、営業時間、価格帯の他に、おすすめのメニューやコースを表示するよう作成した。



左がマップ画面である。焼肉屋の場所にピンが表示されている。そのピンをタップすると右の画像のように画面下部にその店舗が表示されるようになっている。また、表示された店舗をタップすることで店舗の概要画面に移動することが可能である。焼肉屋の一覧の画面と、マップ画面にはそれぞれ誰が見てもわかるようにメジャーなアイコンを設定した。

レポート(4)の記載内容の実現状況（原則 100%となること）

実現状況 100%。全て実装済みであり、スマートフォンと PC の両方で動作確認済みである。